

フランス文学・語学専攻は、1966年の創設以来、文学を通しての人間探求を謳う学科理念に拠りつつ、高い人文的教養を積み、広い批評的視点に立って問題を把握しうる研究者の養成を心がけてきました。現在は、全14名の専任教員（うち3名はフランス語を母語とする教員）が在籍。フランス文学・フランス語学の多彩な分野をカバーし、学生一人一人に対してきめ細かな研究指導を行う体制を整えています。

## カリキュラム

### ▶ 博士前期課程

博士前期課程では、フランス人教員3名を含む14名（2018年度は1名欠員）の専任教員と他大学から招聘する講師陣により、各年度ごとに、基礎演習科目（研究・論文執筆の基礎、フランス語による論文の読解・執筆法についてのもの）のほか、十数科目の専門科目を開講しており、文学・言語学・思想などの幅広い分野を網羅しています。

博士前期課程を修了するには、基礎科目、専門科目及び研究指導教員が担当する研究指導演習のそれぞれについて所定の単位を修得し、「修士論文」または「特定の課題についての研究」の成果を提出し、その審査に合格しなければなりません。

### ▶ 博士後期課程

博士後期課程では、論文執筆についての高度な訓練を行う基礎演習科目や研究指導教員が担当する研究指導演習が開講され、その単位の取得と並行して博士学位申請論文の執筆指導が行われます。学生一人一人について、研究指導教員を中心とする「博士論文指導委員会」が組織され、この委員会が博士論文の執筆を指導します。

## 大学院担当専任教員

教授	秋山伸子	17世紀フランス文学
教授	阿部崇	現代フランス思想
教授	荒木善太	19世紀フランス文学
教授	井田尚	18世紀フランス文学・思想
教授	尾形こづえ	フランス語学
教授	金子真	フランス語学
教授	露崎俊和	19世紀フランス文学・詩
教授	濱野耕一郎	20世紀フランス文学・思想
教授	France DHORNE	フランス語学
准教授	久保田剛史	16世紀フランス文学
准教授	和田恵里	20世紀フランス文学・語学
准教授	Sylvain ADAMI	フランス語教授法・社会言語学
准教授	Marion DE LENCQUESAING	17世紀フランス文学・思想

## 2018年度開講科目より

- モンテーニュ『エッセー』を読む（16世紀文学）
- ロジェ・デュシェーヌ『才女』を読む（17世紀文学）
- デイドロ『おしゃべりな宝石』を読む（18世紀文学・思想）
- オペラの台本を読む（19世紀文学）
- 文芸評論、美術評論を読む（20世紀文学）
- ロジェ・カイヨワを読む（20世紀文学）
- Albert Camus, écrivain et journaliste（20世紀文学）
- スピノザ『エチカ』を読む（17世紀思想）
- ミシェル・フーコー「パレーシア」を読む（現代フランス思想）
- Saussureの言語理論研究（フランス語学）
- La traduction des sensations（フランス語学）
- Politique linguistique et relations internationales（社会言語学）

## 単位互換協定（仏専協）

本専攻課程に在籍する学生は、「大学院委託聴講生に関する協定」を締結している他の大学の大学院で単位を取得し、本専攻課程での必要単位の一部（博士前期課程の修了要件単位のうち10単位まで）に加えることができます。本学以外には、以下の大学院がこの協定に参加しています。

- 学習院大学大学院人文科学研究科フランス文学専攻
- 白百合女子大学大学院文学研究科フランス語フランス文学専攻 / 言語・文学専攻
- 上智大学大学院文学研究科フランス文学専攻
- 獨協大学大学院外国語学研究所フランス語学専攻
- 武蔵大学大学院人文科学研究科欧米文化専攻
- 明治学院大学大学院文学研究科フランス文学専攻
- 明治大学大学院文学研究科仏文学専攻

## 留学制度

青山学院大学では、各国の大学と学術交流の協定を結んでいます。協定校への派遣留学生は学内の試験によって選抜されます。渡航にあたっては、各種の奨学金や支援金の制度を活用することができます（協定校留学奨励奨学金等）。

本専攻課程の在籍学生の場合、パリ第3大学 Université Sorbonne Nouvelle – Paris 3 が主たる留学先となります。

また、パリ第3大学と青山学院大学との間には、両校の指導教員が共同で博士論文の指導にあたる「共同指導 co-tutelle」の制度があり、すでに2名の博士後期課程学生がこの制度を利用して博士の学位を取得しています。

## 教育補助員(TA)制度

TAは授業の補助を主たる職務とし、授業科目の補助業務（小試験の採点等）、学生に対する学習上の相談及び指導（文法相談室）などを行っています。大学院在籍学生のなかから希望者を募り、学科として学力・人格に優れた学生を採用しています。採用人数に応じた給与が支給されます。

[お問い合わせ]

青山学院大学文学部フランス文学科  
合同研究室

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
03-3409-7914（直通）

<http://www.cl.aoyama.ac.jp/french/>

2018年6月15日発行

## 3つのポリシー

### アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

#### 博士前期課程

- ▶ 知識・技能
  - － フランス語を運用するための基礎的な技能を身に付けている。
  - － フランス文学ないしフランス語学に関する基礎的な知識を有している。
  - － 第二外国語（英語）の基礎的な運用能力を有している。
- ▶ 思考力・判断力・表現力
  - － フランス文学ないしフランス語学の基礎的な問題に関して、自らの考えを秩序立てて説得的に表現することができる。
- ▶ 意欲・関心・態度
  - － フランス文学ないしフランス語学に関心を持ち、専門的な研究に取り組む意欲がある。

#### 博士後期課程

- ▶ 知識・技能
  - － フランス語を学術的に運用するための高度な技能を身に付けている。
  - － フランス文学ないしフランス語学に関する広範な知識を有し、研究を進めるのに必要な学術的手続きを理解している。
  - － 第二外国語（英語）の基礎的な運用能力を有している。
- ▶ 思考力・判断力・表現力
  - － フランス文学ないしフランス語学のさまざまな問題に関して、自らの考えを秩序立てて説得的に表現することができる。
- ▶ 意欲・関心・態度
  - － フランス文学ないしフランス語学に関する高度に専門的な研究に取り組み、その成果を博士学位申請論文にまとめる意欲がある。

### カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ▶ 知識・技能
  - － 「基礎科目」などを通じて、人文学の領域、とりわけフランス語圏の言語や文学に関わる分野で研究を進めるのに必要な学術的手続きを習得する。
  - － 「専門科目」などを通じて、人文学の領域、とりわけフランス語圏の言語や文学に関する専門的な知識を身に付け、最先端の研究成果に触れる。
- ▶ 思考力・判断力・表現力
  - － 「専門科目」や「研究指導」などを通じて、フランス語圏の言語や文学に関わる研究領域で自ら問題を発見してその解決に取り組む、最終的な成果を日本語またはフランス語で、学術的な作法に則ってまとめ上げる力を育む。
- ▶ 意欲・関心・態度
  - － 個々の関心に応じて「専門科目」や「研究指導」を履修し、フランス語圏の言語や文学に関する研究に主体的に取り組む。また、そうした研究の社会的意義について絶えず問う姿勢を養う。

- ▶ 知識・技能
  - － 「研究指導」を通じて、フランス語圏の言語や文学に関する研究分野で独創的かつ高度な学術的成果を挙げるのに必要な学術的手続きを習得する。
  - － 博士学位申請論文の準備・執筆を通じて最先端の研究成果に触れ、多種多様な方法論を習得する。
- ▶ 思考力・判断力・表現力
  - － 「研究指導」および博士学位申請論文の準備・執筆を通じて、フランス語圏の言語や文学に関する研究領域で独創的な内容の研究に取り組み、最終的な成果を博士学位申請論文にまとめ上げる。
- ▶ 意欲・関心・態度
  - － 個々の関心に応じて「研究指導」を履修し、フランス語圏の言語や文学に関する高いレベルの研究に主体的に取り組む。また、そうした高度に専門的な研究がどのような社会的意義を持ちうるか、絶えず問う姿勢を養う。

### ディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）

- ▶ 知識・技能
  - － 人文学の幅広い教養、とりわけフランス語圏の言語や文学に関する専門的な知識を有している。
  - － フランス語圏の言語や文学の研究を進めるのに必要な学術的手続きを理解している。
- ▶ 思考力・判断力・表現力
  - － フランス語圏の言語や文学に関わる研究領域で、自ら問題を発見してその解決に取り組む、修士学位申請論文あるいは特定の課題についての研究の成果としてまとめる力量を有している。
- ▶ 意欲・関心・態度
  - － フランス語圏の言語や文学の研究を通じて得た高度な知見や技能を広く社会に還元しようという意欲を有している。

- ▶ 知識・技能
  - － 人文学の幅広い教養、とりわけフランス語圏の言語や文学に関する高度に専門的な知識を有している。
  - － フランス語圏の言語や文学の研究を深化させるための多種多様な方法論に通暁している。
- ▶ 思考力・判断力・表現力
  - － フランス語圏の言語や文学の研究発展に資するような、独創的かつ高度な学術的成果を博士学位申請論文にまとめ上げる力量を有している。
- ▶ 意欲・関心・態度
  - － フランス語圏の言語や文学の研究を通じて得た高度に専門的な知見や技能を広く社会に還元しようという意欲を有している。

## 入学試験概要（2019年度）

### ▶ 博士前期課程

[入学定員] 6名

[入学試験種別] 一般入学試験（秋実施）・一般入学試験（春実施）

[試験科目]

一般（秋） フランス文学・語学、第二外国語（英語）、面接

一般（春） A方式 フランス文学・語学、第二外国語（英語）、卒業論文審査、面接

B方式 フランス文学・語学、第二外国語（英語）、論述、面接

[出願受付期間]

一般（秋） 2018年8月24日（金）～8月31日（金）

一般（春） 2019年1月4日（金）～1月11日（金）

[試験日]

一般（秋） 筆記・面接：2018年10月6日（土）

一般（春） 筆記・面接：2019年2月22日（金）

[合格発表]

一般（秋） 2018年10月19日（金）

一般（春） 2019年2月27日（水）

### ▶ 博士後期課程

[入学定員] 2名

[入学試験種別] 一般入学試験

[試験科目]（2018年度参考）

フランス文学・語学IおよびII、第二外国語（英語）、修士論文審査、面接

[出願受付期間] 2019年1月4日（金）～1月11日（金）

[試験日] 筆記・面接：2019年2月22日（金）

[合格発表] 2019年2月27日（水）

\* 詳細については、大学ホームページを参照、または大学学務部教務課大学院文学部担当にお問い合わせください。

